

別紙標準様式(第7条関係)

会議録

会議の名称	第2回 枚方市立香里ヶ丘図書館・みどりの広場教育委員会指定管理者選定委員会
開催日時	令和4年(2022年)9月27日(土曜) 13時00分から 15時00分まで
開催場所	別館4階 特別会議室
出席者	委員5名中5名出席 会長：本多重夫委員、副会長：服部純子委員、 委員：加嶋章博委員、原田隆史委員、藤本真里委員
欠席者	なし
案件名	報告1. 業務仕様書の修正について 報告2. 現地説明会、質疑回答及び申請状況について 案件1. 選定基準について 案件2. プレゼンテーションについて 案件3. 評価について
提出された資料等の名称	資料1 剪定、病害虫防除作業業務仕様書 資料2 除草・芝生管理業務仕様書 資料3 業務仕様書新旧対照表 資料4 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場 申請状況等一覧表 資料5 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場 指定管理者指定申請に関する質問及び回答 資料6 修正後 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場指定管理者選定基準(案) 資料7 評価表
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・選定基準(案)について、原案どおり変更することを決定した。 ・申請団体(2団体)の提案内容に対する評価及び評価コメントを10月5日までに事務局に提出する旨を決定。 ・評価・評価コメント等については、事務局で取りまとめ10月17日開催の第3回委員会に提出する。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第5条第6号に規定する非公開情報が含まれる事項について審議・調査等を行うため。

審 議 内 容	
会議録等の公表、非公表の別及び非公表の理由	本委員会の答申後に公表
傍 聴 者 の 数	なし
所 管 部 署 (事 務 局)	総合教育部 中央図書館 土木部 みち・みどり室 工事委託課

※会長、副会長の発言について、会長、副会長の立場からの発言は発言者名を「会長」又は「副会長」、それ以外は「委員」と表記する。

(13:00 開会)

1 開 会

会 長： それでは、第2回枚方市立香里ヶ丘図書館・みどりの広場教育委員会指定管理者選定委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員の出席状況、それから配付資料について、事務局ほうから説明をお願いいたします。

事 務 局： 本日の出席状況は、5人の委員全員に出席していただいておりますので、会議として成立していることを報告させていただきます。

次に、資料の確認をさせていただきます。

本日の会議次第と、「資料1 剪定・病虫害防除作業業務仕様書」と、「資料2 除草・芝生管理業務仕様書」、「資料3 業務仕様書新旧対照表」でございます。次に、「資料4 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場 申請状況等一覧表」、「資料5 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場 指定管理者申請に関する質問及び回答」でございます。続きまして、「資料6 修正後 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場指定管理者選定基準（案）」と「資料7 評価表」でございます。それから、「参考資料1」として、本日のプレゼンテーションの進行予定を記載したものと、「参考資料2」として、前回の会議でお配りしたものと同一資料ですが、「資料6 指定管理者選定基準に係る補足説明資料」でございます。このほか、指定申請書一式の写しとなります。今回、申請団体が2団体ございますので、お手元のファイルは2冊ございます。資料は以上となります。過不足等、ございませんでしょうか。

○（「過不足なし」 全員確認）

事 務 局： では、会長、よろしくをお願いいたします。

会 長： はい。続きまして、事務局から、本日の進め方等について説明をお願いいたします。

事 務 局： 本日は業務仕様書の修正や申請状況等について報告させていただいた後、前回7月9日の委員会で御決定いただきましたとおり、申請団体のプレゼンテーション、また、評価に関する確認等、必要な審議を行っていただく予定としております。

会 長： ただいまの事務局からの説明について、何か御質問等があればお願いいたします。特になければ、進めさせていただきます。

○（質問なし）

2 議 題

報告1. 業務仕様書の修正について

報告2. 現地説明会、質疑回答及び申請状況について

会 長： 報告（1）「業務仕様書の修正について」と、報告（2）「現地説明会、質疑回答及び申請状況について」を一括して事務局のほうから説明をお願いいたします。

事 務 局： まず業務仕様書の修正について御報告いたします。修正した仕様書は、「資料1 剪定・病虫害防除作業業務仕様書」と「資料2 除草・芝生管理業務仕様書」です。「資料3 業務仕様書新旧対照表」に該当する箇所を抜粋してまとめてあります。表の左側が修正前、右側が修正後の内容となっております。資料のとおりですので、説明は省略させていただきます。

続きまして、現地説明会、質疑・回答及び申請状況について御報告いたします。「資料4 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場 申請状況等一覧表」を御覧ください。現地説明会については5団体の参加がありました。

次に、質疑については、7月26日から8月2日の期間で受付、8月10日から9月9日まで回答を公開いたしました。質疑の内容については、「資料5 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場 指定管理者申請に関する質問及び回答」を御覧ください。募集要項と仕様書の関係で、提案内容に関するものから申請書類の様式に関するものなど、全部で15個の質問がありました。詳細につきましては、時間の都合上、説明を省略させていただきます。

恐れ入りますが、「資料4 枚方市立香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場 申請状況等一覧表」にお戻りください。申請団体につきましては、申請受付順に①「枚方グリーンライフプロジェクト」、②「図書館流通センター・長谷工コミュニティ共同事業体」となっております。本日のプレゼンテーションの順番は、資料に記載のとおり、申請受付順にて実施いたします。2団体とも、本市が求めた提出書類は全て用意されており、申請書類一式を受理いたしました。

基礎審査につきましては、必要書類が提出されているか、必要事項が記載されているかなどの点検を行い、不備がないことを確認いたしました。

指定管理料の提案額については、申請団体①が3億9千6百99万円で200点、申請単体②が4億7百74万8千円で194.58点となっております。指定管理料の額の得点化につきましては、資料の裏面「参考 指定管理料の提案額について」を御覧ください。申請団体が提示する指定管理料の合計額の内、最も低い額を提示したものを満点の200点とし、その他の申請者については、資料に記載の計算式によって得点化を行うこととしております。

また、公募に際しましては、提案上限額、調査基準価格、数値的判断基準値を定めております。調査基準価格については、提案上限額の85%としており、調査基準価格を下回る提案額での申請については、その提案額により適正な業務履行が可能か否かについて、指定管理者選定委員会において審査するものとしております。

また、数値的判断基準値は、申請者の提案額の平均の85%としており、その額を下回る提案額での申請があった場合は、失格としているものです。

今回の申請におきましては、この調査基準価格、数値的判断基準値を下回る額での提案はありませんでした。報告につきましては、以上でございます。

会長： ありがとうございます。ただいまの業務仕様書の修正及び現地説明会、質疑回答申請状況等につきまして、事務局の説明に対して御質問等ございましたらお尋ねいただけますか。

業務仕様書を修正されているのは、なぜですか。理由をお願いいたします。

事務局： はい。事務局のミスでございまして、現指定管理期間の公募時のものを誤って載せてしまいましたので訂正いたしました。

会長： 分かりました。ほか、先生方よろしいですか。

○（質問なし）

案件1. 選定基準について

会長： では、引き続きまして、案件（1）選定基準について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局： それでは「資料6 修正後 枚方市立香里ヶ丘図書館・みどりの広場指定管理者選定基準（案）」を御覧ください。こちらは第1回の選定委員会での御意見を踏まえ、評価に係る割合と配点を修正したものでございます。当初、指定管理料による評価と提案内容による評価の割合については「4：6」としておりましたが、「2：8」とし、提案内容をより重視する内容に、また配点も改善提案と事業提案に重点を置いた内容に修正いたしました。この選定基準につきましては、本日御審議、御決定いただきたいと考えております。以上でございます。

会長： ありがとうございます。経費と内容の比率については、この委員会での先生方の御意見を踏まえた上での2：8ということになりましたけれども、それ以外の点について、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。この選定基準（案）にのっとって選定をしていくということよろしいですか。

○（「異議なし」 全員確認）

会 長： 異議のないということで、そのように決定させていただきます。

案件2. プレゼンテーションについて

会 長： 次は(2)プレゼンテーションについてを議題といたします。

プレゼンテーションに入ります前に、まず申請団体の事業計画の提案内容と、香里ヶ丘図書館・みどりの広場に係る確認事項に関して、評価への観点や考え方等、共有すべき認識などについて御協議いただきたいと思うのですが、事務局から評価方法について説明していただけますか。

事 務 局： 御説明いたします。前回の委員会において、御確認いただいた内容とも重複しますが、御了承のほどお願いいたします。

審査においては、申請団体による事業計画書が、本市の求める確認事項を満たしているかどうかを確認いただくとともに、加点事項に該当するかを御判断いただき、「資料7 評価表」の評価欄に1から5の5段階で「評価」を入れていただきます。

評価表には、要求事項ごとに5段階の「評価」を御記入いただく欄と、それぞれ「評価の理由」を記載いただく欄がございます。「評価の理由」につきましては、委員の皆様で御協議いただく際に御活用いただければと考えております。評価方法の詳細につきましては、「参考資料2 指定管理者選定基準に係る補足説明資料」を御参照いただければと思います。

なお、本日のプレゼンテーションにおいては、申請書類一式と一緒に送付させていただきました「評価メモ」を御活用いただきながら、確認事項や加点事項に関して、申請団体の事業計画書等の書面からは読み取れない部分などについて、御確認をいただければと考えております。

また、評価表の一番下には、「評価コメント(総括)」という欄がございます。ここには今回の指定管理者選定において、申請団体の評価を行っていただくに際し、その申請団体に関してよかった点、よくなかった点など、評価理由のまとめを御記入いただくものでございます。なお、次回、第3回選定委員会において、委員の皆様からいただいた評価の集計及び一体化したコメント案を提示させていただき、選定委員会として内容審査の評価点を合議により決定いただく予定としております。

最終的には、委員会で御決定いただいた内容審査の得点と、指定管理料の額による点数を合計した総合評価の点数により、指定候補者を決定いただきたいと考えております。

また、委員会で御決定いただいた内容審査の得点や、集計した評価コメントにつきましては、議会等に公表していくこととしておりますので、御承知おきいただきますよう、よろしく願いいたします。

本日、この後の流れにつきましては、まず申請団体によるプレゼンテーションを10分間行います。プレゼンテーションが終わると、委員の皆様

から申請団体に質疑を行っていただきます。申請団体が退出後、委員の皆様から事務局に対する質疑の時間を10分程度設けさせていただきます。その後、次の申請団体のプレゼンテーションに移ります。説明は以上です。

会長：ありがとうございます。各委員が評価表を書くときに、ブロックごとに評価を入れますよね。ブロックごとに評価の理由という欄があるじゃないですか。これは採点のときに正式に出すものではないんですね。最後に評価のコメントというのがあって、ここは書くというのは分かるんですけども、個々のブロックごとの評価の理由という欄も書いて、委員の先生方が提出するということになるのですか。

事務局：ここは、後ほど協議していただく際に、いろいろと気づいた点を書いていただくものです。

会長：メモとして活用してほしいという御趣旨ですか。

事務局：そうです。

会長：分かりました。それから、各委員の先生方がブロックごとに評価をしますよね。それについて、集計された段階で、もう一度ブロックごとに、この評価でよろしいのかどうかというのを委員会として最終的に確認すると、こういう理解でよろしいですか。

事務局：第3回で、最終的に確認します。

会長：それが委員会としての採点ということになって、それが2：8の比率で経費の部分と合わさった合計点数が出るという理解でいいですか。

事務局：はい。そうです。

会長：他の先生方はどうですか。

委員：この評価の欄の評価は、この1・2・3・4・5で行うんですよね。例えば30点のとこだったら28とか27じゃなくて、5・4・3・2・1で。

事務局：そうです。

委員：ありがとうございます。

委員：よろしいでしょうか。

会長：どうぞ。

委員：決める必要があるのかどうか分からないんですが、これは加点があって、確認事項があるという形になっているので、通常の場合、つまり加点がなければ最高が3ということになるんですよね。

会長：事務局、どうぞ。

事務局：今お話いただいたとおりです。

委員：3が標準ということですね。

事務局：4・5が加点のポイントになります。

委員：分かりました。

委員：よろしいでしょうか。

事務局： はい。

委員： 各委員の評価の提出ですけれども、この資料7は、ファイルから取り出して、この紙自体を提出するということによろしいでしょうか。

事務局： ファイルから外していただくなり、御自由にさせていただいて結構です。最終的にはデータをメールでお送りいただけるような形を考えております。

委員： 今日提出してもいいということですか。

事務局： 今日でも結構です。

委員： 次回までに送る必要があるということですね。

事務局： 今日いただける場合は、改めてのデータでの送付は不要です。

委員： 少なくとも次回までには、そちらへ提出しなければいけないということですね。

会長： 何か提出期限みたいなのも設定されるわけですか。

事務局： 10月5日までにデータをご送付ください。

委員： 今日、紙をお預けしなければいけませんか。そのままデータに打ち込んで、送ろうと思ったんですけど。

事務局： それでも結構です。紙で本日いただけるのでしたら、そちらでも結構です。

会長： 評価のプレゼンテーションについて、特に御意見はございますか。段取りは事務局の説明で大体理解できたんですけども。副会長、よろしいですか。

副会長： はい。大丈夫です。

会長： 第3回まで、もう1回それぞれの点について、みんなで協議する場があるということですよ。

事務局： その通りです。

会長： 分かりました。では、プレゼンテーションを行っていただきましょう。それでは、事務局で申請団体の誘導をお願いいたします。

事務局： それでは、今からお呼びする申請団体①、名称は「枚方グリーンライフプロジェクト」の申請書類一式以外の書類は、お手数ですけれども、一旦申請団体から見えないよう、机のところに棚がございますので、そちらに水色の申請書類を入れていただけますでしょうか。

委員： ほかに、どこが出してるかというのは御存じないということですか。

事務局： そうですね。何社応募があったか、どこが応募してるかというのを一切出さないようにしております。御協力よろしくお願いいたします。

会長： 分かりました。

事務局： 次の団体についても、同様の形でよろしくお願いいたします。それではただ今から、申請団体を誘導いたしますので、しばらくお待ちください。

○（申請団体①（枚方グリーンライフプロジェクト）入室）

事務局： それでは、ただいまからプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、はじめに団体名及びプレゼンテーションをされる方のお名前を述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は10分間です。時計の計測は、団体からの自己紹介が終わり、実際のプレゼンテーションが始まってから開始します。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の10分になり次第ベルを鳴らしますので終了とさせていただきます。

なおプレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。それでは、お願いいたします。

○（申請団体①の出席者 自己紹介）

申請団体： それでは、事業計画について御説明をさせていただきます。確認事項の順に要点を絞って御説明をさせていただきます。

事業計画、確認事項一覧を御覧ください。1ページ目、確認事項1、設立目的について御説明いたします。私たち、枚方グリーンライフプロジェクトは、図書館運営の専門会社であるリブネットと、地元における建物管理専門会社の京阪ビルテクノサービスの2社によって構成しており、それぞれの専門分野で十分な実績を有する企業でございます。当グループは、地域密着型の図書館を目指し、地域に愛される図書館運営を行うことをお約束いたします。

2点目、確認事項6、申請した理由について御説明いたします。当施設は、地域に根差した図書館運営が必要だと認識しております。館内の香里ヶ丘ギャラリーを活用し、近隣商業施設の香里ヶ丘CORiOとの連携や、URコミュニティ大阪住まいセンターの作品展示を行うなど、地域のにぎわいを創出してまいります。また、地元小中学生を司書体験などの職業体験に招き、図書館に対する理解を高め、運営してまいります。当団体であれば、香里ヶ丘地域の方々に愛され、地域に根差した図書館を運営することができるかと確信しており、今回申請した決意でございます。

4ページ目、確認事項11、施設の利用の向上に関する計画について御説明いたします。香里ヶ丘図書館・みどりの公園の利用促進を行うためには、まずウィズコロナにおける施設の利用方法を見直す必要がございます。

1つ目として、自動貸出機の利用を促進し、カウンター業務の混雑を解消いたします。

2つ目として、自学自習室の空き状況をSNSより発信し、稼働率の向上を図ります。

3つ目として、図書館イベントのリアルタイムでの動画配信を行い、全

国から注目を集める図書館にいたします。

5 ページ目、確認事項 1 4、図書館の新規利用者を増やすための取組について御説明いたします。1 つ目として、図書館から新鮮な情報を 2 週間サイクルで発信し、利用者の興味を引き出すテーマ展示の更新を行います。展示図書の一覧表の配付のほか、ホームページや SNS から同時に配信してまいります。当施設におけるデジタルサイネージは SNS と連携しており、リアルタイムでの情報発信ができ、図書館の利用促進につながります。

2 つ目として、図書館を利用する方法が分からない方や外国籍の方、障害をお持ちの方でも安心して図書館を御利用いただくために、本の借り方、返却方法、登録方法など、アクセシビリティに配慮した内容でホームページより配信してまいります。

6 ページ目、確認事項 1 5、図書館の来館者を増やし、貸出数を増やす取組について御説明いたします。

1 つ目として、図書館スタンプラリーのイベントを開催し、貸出期間より短いサイクルで来館をしていただき、来館者数と貸出冊数を増加させます。

2 つ目として、1 8 時以降に実施するワークショップや講演会など、仕事帰りでも立ち寄ることができる夜としよを開催し、夕方の稼働率の向上を図り、さらにイベントに関連した図書の貸出しを行い、貸出冊数の増加につなげてまいります。

6 ページ目、確認事項 1 6、利用者サービス向上につながる備品の貸出しについて御説明いたします。

1 つ目として、みどりの広場で読書を楽しんでいただくために、クッションマットや折り畳み机のほかに、日差しが気になる方向けにハンキングパラソルや簡易テントなどの貸出サービスを行ってまいります。

2 つ目として、高齢の方がたくさんの本を持ち歩く際の負担を軽減するために、ブックカートを導入した貸出サービスを行ってまいります。

8 ページ目、確認事項 2 3、図書館と公園の一体的な運営について御説明いたします。当グループの提案事業として、屋内でのおはなし会を週 1 回以上開催、屋外での青空おはなし会を年 8 回以上開催してまいります。屋内・屋外どちらでも、おはなし会を楽しめる事業を行ってまいります。

次に、自主事業として、花・緑育成体験会、ウォーキング講習、動植物観察講座や朝市などを開催し、公園を利活用した事業を展開し、市民に親しんでいただける内容といたします。

8 ページ目、確認事項 2 4、子供向け事業の具体的な提案について御説明いたします。英語・中国語などの多言語での読み聞かせ、ブックトーク・図書館見学や職場体験を行ってまいります。また、ICT 技術を活用しま

したタブレット端末による電子スタンプラリーを開催し、楽しみながら本をたくさん読める読書ツアーのサイトを開設いたします。

9 ページ目、確認事項 2 5、一般成人を対象とした図書館読書振興事業について御説明いたします。香里ヶ丘図書館がサードプレイスとなるように、一般成人に向けたイベントやワークショップを積極的に開催してまいります。市民の学習活動や課題解決の支援を行ってまいります。事業例としまして、大人のワークショップ、夜としよや外部講師による講演会、図書館の使い方講座などを実施してまいります。

1 0 ページ目、確認事項 2 6、電子図書館の利用を増やすための取組について御説明いたします。

1 つ目として、ホームページや SNS を通じて、枚方市のスマート登録制度の活用を促進します。多くの方に電子図書館に触れていただくために、貸出用のタブレット端末を準備し使い方講座を開催、YouTube などの動画サイトを利用し、電子図書館の how to コンテンツを作成し配信してまいります。

2 つ目として、図書館で発行するお知らせに、枚方電子図書館にリンクする QR コードを配置し、電子図書館の認知度の拡大を図ってまいります。

1 4 ページ目、確認事項 4 5、施設の利用促進につながる広報活動について御説明いたします。紙媒体でのイベントお知らせの配布・ポスティングのほかに、ホームページやブログ・SNS を有効的に活用して情報を発信してまいります。さらに、京阪電鉄・京阪バスとの連携方法として、旅客向け広報誌、K P R E S S への情報提供や京阪電鉄駅構内での広報、京阪バス車内貼りポスターの掲示、京阪グループイントラネットへの掲載を行ってまいります。

以上が、私たち枚方グリーンライフプロジェクトの事業計画の概要となります。香里ヶ丘地域の方々に愛され、地域に根差した図書館運営を行ってまいります。ぜひ、私たちが御指名いただき、これを実現するチャンスをいただきますようお願いいたします。

御清聴ありがとうございました。

会 長： ありがとうございます。それでは、委員のほうから御質問させていただきますので、よろしく願いいたします。先生方、どうぞ。

委 員： 私のほうから大きなところを 2 つほどお聞きいたします。

1 つは、現在の香里ヶ丘図書館の強みと、それから問題点と申しますか、もしくは改善すべき点というものについて、どのように御認識か、または、それについて、どのような形で提案に活かされているかについて教えていただけますでしょうか。

申 請 団 体： はい。まず強みについてです。香里ヶ丘地域については、提案書に申し

上げておりますように、URの団地もございますし、一般的な住宅街、閑静な住宅街という立地でございます。この立地については、徒歩圏内で多くの方が歩いて来館していただけたらと考えております。そのため、ただ単に図書館で楽しむだけではなくて、憩いの場となるようにみどりの広場を利活用しながら、香里ヶ丘図書館でゆっくりとした時間を過ごしていただく。お仕事を引退された方についてもそうですし、サードプレイスとなるような、そういった居心地のいい場であると私たちは考えております。そういった立地条件の強みを生かして、図書館運営を行っていきたいと考えております。

逆に問題点というところについては、先ほど私が申し上げましたとおり、ウィズコロナという観点がございます。単に人を集めて密になっては、これはどうしようもありません。そのために、今あまり利用されていないと感じております、自動貸出機を有効的に活用する。あと、先ほどありましたサイネージ、これはSNSと連動しておりますので、図書館の混雑状況、あとは自学自習室の、これも予約状況、稼働状況、そういったことを時間おきに発信していきますので、密にならない時間帯にお越しただいて、皆さんが快適に図書館をお使いいただく、みどりの広場をご利用いただくというふうに考えております。

委員： もう1つ、今おっしゃった最後のお話と重なるんですけども、従来から利用することが少なかった方々へ刺さる、もしくはそれをターゲットとしたような提案というのは、今回おっしゃったお話の中では、オンラインの提案が中心になるんですか。それとも、それ以外の点についても、何か強調されるべき点がありますでしょうか。

申請団体： そうですね。従来利用されていない方については、まずはきっかけづくりというのが必要になってきますので、いわゆる若年層の方、10代20代の方に利用者が多いインスタグラムだとか、ツイッターなんかをまず利用して、情報発信をしていきます。そのほかに、みどりの広場を使った朝市だとかウォーキング講習、多方面から図書館に関わるような、人が関わっていただくようなイベントを開催し、図書館のほうに足を向けて、最終的には図書館で本を借りていただくなど、来館者を増やしていきたいというふうに考えております。

委員： もう1点だけ、今おっしゃったSNS等を利用するというお話については、各図書館等でも活動はなされてると思うんですが、実際問題として、それ自身が見てもらえないというところが課題になっているかと思うのですが、その対応についても、何か御検討されておられますか。

申請団体： はい。私どもは枚方市内で4館ほど図書館指定管理をさせていただいておりますので、その中で実践したものとしまして、今回提案に上げておりますポスティングというものがございます。これは、今のL i C Sという

図書システムの中から、地域ごとに登録者数が分かりますので、それに当てはめて、どこの地域の方がお越しにきていないかというのを、地域ごとの世帯数に割り込んで、そこの中から図書館に来ていただけない地域だとかを特定して、代理委託してポスティングをする、直接ポストにチラシを入れさせていただく、そういったSNSを見ていない方にも届くような方法、あと、京阪バスはやはり多くの方が利用されておりますので、その中で目につくようなポスター掲示だとか、京阪電鉄の構内でも広報活動をしていきたいと考えております。

委
会
委

員： はい。また後ほど時間がありましたら質問いたします。

長： どうぞ。

員： 2つ御質問します。1つは、2週間ごとにテーマ展示をやっていくというのは、すごくおもしろいなと思うんですけども、このテーマの決め方を具体的にどんなふうに、どんなシステムで決めていかれるのかをお聞きしたいのと、地域との連携といったときに、会社の幹部はそう考えてても、現場の人があまり地域のことを知らないと、訪れる人の感じ方が、連携してるのかな、身近だと感じるか感じないか、すごく大きいなと思うんですね。そういう現場で働く方々に対する地域情報というのか、そういうこだわりというのかの研修について、現場スタッフ、アルバイトやパートの方も含めて、どういうふうにお考えになっているのかの2つを教えてください。

申 請 団 体： はい。まず1つ目、テーマ展示の決め方についてでございます。基本的には全国のいろいろな図書館でテーマ展示を2週間おきにやっております。そういった中で、どのイベント、どのテーマに対して貸出が非常に伸びたかというのもデータとして捉えておりますし、あとは春夏秋冬、春でしたら入学のシーズンということもありますし、夏でしたら夏休みの宿題対策とか、そういった四季折々のテーマ展示もやっております。これは全国の図書館のデータがございますので、テーマに対して、どの本がどんな形態でやれたかという詳細な分析も取っておりますので、そういった、いいものはやる、逆に少なかったものについてはブラッシュアップをしてテーマ展示を変えていくなり、日々、毎年毎年同じ内容とはなりませんけども、違う目線でテーマ決定をしております。

2つ目の連携について、地元ということもありますけども、もちろんスタッフについては香里ヶ丘地域に在住のスタッフもいますし、そういったスタッフを確保しております。やはり地域の方々と同じ目線で運営していくということは、まず館長を中心に、商店街であったり自治会長様であったり、そういったいろんな方々にまず御挨拶をさせていただいて、館長の顔を知っていただく。その中で、例えばURコミュニティ大阪の中では、ノルディックウォーキングをやってらっしゃる、そういった関連した図書

の展示をやりますのでいかがでしょうかと。やはり、そのグループだとか集合されてる中に溶け込んで、同じ目線で地域に密着した図書館、地域に愛されるというところは、やっぱりそういうところだと考えておりますので、まずは地域の方々等の御意見・懇談会、そういったものを交えながら、図書館運営を行っていきたいと考えております。

委員： はい。ありがとうございました。

委員： 私のほうからお伺いしたいのは、これも地域との関わりについてですが、地域の方々に来館者になるということはもちろん、運営側に少し協力されるという視点も含めておられるところは好ましいと思って拝聴しておりました。

それで、周辺施設の香里ヶ丘CORiOとの連携ということがありましたけれども、これは具体的にはどういった内容で、どういった対象の方を想定しておられるのかということと、もう1点、市民と商店街の方々が講師となって、知を生かした講座の開催ということもありましたが、これは具体的に可能なのか、どういったアイデアがあるか、また、これもどのような方々を対象とされているのかを教えてくださいませんか。

申請団体： はい。ありがとうございます。まず1つ目のCORiOとの連携についてです。近年コロナの影響がありまして、今図書館として連携はさほどされてないように思えますが、私たちとしましては、CORiOさんがされてます、七夕の飾りつけだったりとか、先ほどありましたノルディックウォーキングの展示だったりとか、そういった団地内で行われているイベントの関連図書だとか、あと例えば、写真展だとか、そういったものを地域の方々に集まっていたいで、そこで御覧いただけるにぎわいの場が香里ヶ丘ギャラリーかなと思っておりますので、そういった連携をしながら、来館者を増やしていきたいと考えております。

もう1点の、市民が講師となる、これは私ども、ほかの関連施設での実績がございます。この目的としましては、やはり地域の伝統、文化、地域の匠といわれる方が、まず講師になっていただきまして、例えば、香里ヶ丘地域に住んでるけども、なかなか地元のこと、やっぱりよく分からないねとか、逆に若い方なんか、なかなか地元のことを知る機会が最近少ないんですね。その伝統や文化を継承していくといった意味も込めて、市民の方、商店街の店主でもあってもいいと思いますし、やはり枚方市の伝統を継承していく、文化継承していくといったことで、市民の方に講師となっていていただくというふうな講座を開催したいと考えております。

委員： ありがとうございます。

委員： よろしいですか。

申請団体： はい。

委員： その市民の方を講師とするような講座は、具体的にどんなのをやられた

実績があるんですか。

申請団体： はい。御殿山図書館、名前を出してしまいますが、御殿山神社が横にあります、宮司さんをお招きして、これは図書館とセンターのコラボ企画であったんですけども、やはり行事じゃないと神社には行かないと思うんですけど、図書館ですと、市民の方というのは気軽に足を運んでいただけるので、図書館のイベントとも関連して、宮司さんから御殿山神社の成り立ちとか伝統とか歴史とか、いろいろお話をさせていただいて、なかなかやっぱり知る機会のないところをやると思いますか、皆さんの場でお話いただくと、非常に市民の方、周辺の方からも、こんないいところあったんだという御意見もたくさんいただいておりますので、実際にやって成功している事例もたくさんあります。

委員： 分かりました。ありがとうございます。

委員： すみません。ちょっと2点ほど御質問があるんですけども、収支予算書を拝見しますと、人件費のところ若干抑え目かなと思ったんですけども、統括責任者さんとかリーダーとかサブリーダーとかいらっしゃるんですけども、雇用形態が非正規・正規・アルバイトとかあると思うんですが、その辺りをもう少し詳しく教えてください。

申請団体： はい。弊社については、まず館長、リーダー・サブリーダー、ここまですべてを正社員として雇用いたします。仕様書では館長とリーダーがあるかと思っておりますけども、やはり図書館で長く働いて、図書館で生計を立てているスタッフはたくさんいます。そういった安定雇用のために、サブリーダーまで正社員として雇用して運営しています。それ以外についてはパートという形を考えております。

委員： 分かりました。あと、確か駐車場もそんなに広くなかったと思うんですけども、緑でちょっとくつろぐのに、クッションマットとかテントとかは、若いお母様方はすごく助かるかなと思うんですけども、非常に高いものではないと思うんですけど、1個というわけにはいかないと思うので、その辺の予算はどの項目に計上されていますか。

申請団体： はい。備品購入費の中で予算は入れております。ハンキングパラソルについては、1つ当たり2万か3万円程度といったところですね。年数を要して徐々に増やしていくと。最初は5台から10台を設置していったら、利用が多いのであればたくさん増やしていきます。簡易テントも設置をする予定ですけども、これはさほど高いものではない、1万円以下のものですので、そういったものを備品として備えさせていただきます。

これには目的がもう1つありまして、隣のグラウンドが避難場所になっております。簡易テントというのは、私ども図書館が、そういった緊急事態のときには貸出をしまして、そこでやっぱりコロナ禍ということがあって、その避難場所で最近テントを多く使ってらっしゃるといったところ

が見受けられておりますので、ぜひそういうときにも活用できるように、購入するという計画になっております。

委員： 分かりました。ありがとうございました。

委員： もう1点だけいいですか。

会長： どうぞ。

委員： 最初に出てきたのかもしれないんですが、今お答えいただいていらっしゃる方は、館長予定者の方でいらっしゃいますか。

申請団体： 私は営業担当でございまして、本日、真ん中におります者が館長候補でございまして。

委員： そうですか。分かりました。

委員： こういう図書を入れてほしいとかいうような、市民の方からの希望っていうのがあるじゃないですか。それは最終的には枚方市に取り次ぐ形になるんですかね。

申請団体： そうです。

委員： そういうようなアンケート的なものも実施されるんですか。

申請団体： はい。日頃から、そういったリクエストというのはお受けしておりますし、やはりレファレンスという中で、こういった本を探しているとか、市民の方とお話する機会がたくさんあります。そういった中から、市民の方が欲しいと希望されている図書というのをデータベース化しております、それを市のほうに選書という形でお伝えをするという形式を取っております。

委員： ありがとうございます。

委員： もう1点だけ。館長候補の方から、今回の香里ヶ丘図書館に関しての運営というものについての心がけ、もしくは御自身のお考えというのを御説明いただけますでしょうか。

申請団体： はい。説明させていただきます。地域の図書館ということで、まず地域の方々が気軽に立ち寄っていただいて、図書館自体に親しみを感じてもらえる空間として、読書の楽しみに触れていただきたいと、まずそれがあります。ほかの図書館にありますように、隣に公園がありますので、その特性を生かして、公園のほうで活動をして、その方々に図書館を利用していただくという、新たな利用者の創出に努めていけたらなと思っております。

委員： はい。ありがとうございます。

委員： この図書館は緑地が隣にあるということもあって、多分注目を浴びると思うんですね。ですから地域の皆さんももちろんすごく大切なことで、先程展示とかで、非常に地域にこだわったもの、例えば、たくさん京阪ネタを入れてみるとか、電車の展示があって、もうここしかないという本があるとか、何かそういう、ほかの市から来て枚方を感じられるような、そん

な配慮もあると、京阪さんと組むのであれば、すごくおもしろいネタがあるなどと思って。だから枚方で何か、例えば総合計画など、それに関わるような図書を置くとか、そういう直結型のおもしろさみたいなこと、審査でこんなこと言うのはよくないかも知れないですけど、やっぱりそれも意識していただきなと思います。

申請団体： はい。それについては、このグループの中に京阪ビルテクノサービスさんがいるように、京阪ネットワークというのがあります。電鉄・バス、いろんなメディアを使った企画展示ができることが、私どもの魅力の1つといますか、アピールポイントでございます。先生が言われていましたように、市民がふだん使っていただいているものでありますけども、そういったイベントも、多分ほかのグループではできないような直結した展示・イベントができるというふうに聞いておりますので、その辺は確かでございます。

会長： 他の委員どうですか。

委員： いろいろビジョンがあると思うのですが、これまでのステージから次に向けた改善として、売りにしていくイベントなりサービスなり、そういったもので、最も上位に位置付けておられるものを1つお示しいただけますか。

申請団体： はい。香里ヶ丘図書館は今3年を迎えて次4年ということで、やはり注目も浴びていますし、非常にすばらしい建物が建っております。枚方市にはこれは財産ですし、宝でもありますので、それをYouTube だとか動画配信をしまして、まずイベントにおいて、例えば春の図書館まつり、秋の図書館まつりなどありますけれど、そういったイベントをライブ配信して、全国からまず注目を浴びる、そういった図書館にしていきたいと考えております。全国の方が、香里ヶ丘図書館に行ってみたくて言っただけのように、まずは全国に向けて発信を、もちろん地域の方々に来ていただくわけですけども、そういったことを1つ目玉としてやっていきたいと考えております。

委員： はい。ありがとうございます。

会長： 他の委員、よろしいですか。

委員： 実際に、多様な御提案をいただいて、これらを実現していくということになるわけですが、このメンバーで、どうやってきちんと回していくのか。または、どのような形でこれらを実行するのか。やるのはできると思うんですね。提案された形で本社のバックアップがあれば様々なことができると思うんですけども、実際にこれら回していくとなったときには、恐らく職員の、その日頃の業務というので十分に時間がない状況の中で動かしていかなくちゃいけないお話になりますので、どのような形でこれらを日常業務と両立させていくのかといった辺りをお知らせいただきたい

と思います。館長候補の方から教えていただけますでしょうか。

申請団体： はい。配属されたメンバー・スタッフにカウンター業務に当たるもの、排架業務・書架整備に当たる者、あとは中でイベントを準備する者、公園のほうを担当して、そちらのほうのイベントを立案・実施していく者、ちゃんと担当を分けまして、確実に実施していくつもりであります。

委員： 担当分けをするということですか。

申請団体： そうです。主業務、主担当と、全ての業務をみんな、もちろん分かっているのですけれども、主担当を決めて、そこに力を注いでいくという形になります。

委員： それで回りますか。

申請団体： はい。大丈夫です。

委員： そうですか。分かりました。ありがとうございます。

会長： はい。それでは長い間ありがとうございました。お疲れさまでした。

申請団体： ありがとうございました。

○（申請団体①退室）

会長： では、今の事業者に関して、事務局・所管課のほうに御質問になりたい点があれば御自由に御確認、御質問していただけますか。

委員： 1点すいません。

会長： どうぞ。

委員： この時間は、事務局への質問という風になっていますが、例えば、我々のディスカッションではなく、ここで事務局に提案内容について確認をしていく作業を想定されているのでしょうか。

事務局： そうですね。今回のプレゼンをお聞きいただいて、この内容が、この仕様書に沿っているかどうかというようなこととか、何か疑問点がございましたら、御質問いただければと思っております。

委員： 分かりました。

委員： では1点だけよろしいですか。経営の継続性・安定性という項目については、国税・市税に関わるお金を完納しているその他が基準として上げられているんですが、この辺りも私どもで採点する内容ですか。副会長は御専門だと思いますけれども、私自身もここは書いた方がいいんでしょうかというのが聞きたかったんですけれど。

事務局： 一旦は各委員に評価をご記入いただいて、3回目の委員会のときに副会長のほうに御質問をいただきながら、委員会としての評価をいただければと思っております。

委員： はい。分かりました。では何かは書いておくんですね。

会長： 提案を聞いて、事務局で気になった点はありますか。御自由に、言っ

ていただければ参考になるんですけども。

事務局： 委員がご質問された通り、日常的な図書館の基本業務が相当忙しくて、人員的にもハードなところもありますので、たくさんのイベントを提案されていて、そのバックアップができるのかなというところは気になります。

委員： 館長候補の方がものすごくしっかりしていれば回ると思うので、それで最後のほう、あまり聞いても答えのないことを聞いてしまいました。

委員： 津田図書館は、やっぱり京阪テクノと組んでるんですか。

事務局： そうです。今4分館、楠葉・御殿山・菅原・津田、この4分館を今のJVで運営しています。先程の館長は現在津田図書館の館長をされています。

委員： その様子と比較して、どうですか。

事務局： 利用の規模がかなり違いまして、単純に比較はしにくいです。香里ヶ丘図書館は他の図書館と比較して利用がかなり多く、そのあたりの対処が難しいなというふうには想定しています。

委員： この香里ヶ丘図書館は、直営の時代から日本でも有数の利用がある図書館でしたので。

事務局： そうですね。分館の中では、長らく楠葉図書館が一番貸出が多かったところなんですけれども、今回の建て替え後については、圧倒的に香里ヶ丘が貸出の多い図書館です。

委員： もともと少ない冊数で、これだけよく貸出してると言われる図書館だったので、建て替えたことによって大きく、さらに利用が進んでいったのだと思います。

委員： 提案に出てきた自動貸出機はどういう仕組みの機械なんですか。

事務局： はい。既に香里ヶ丘図書館に設置をされているものなんですけども、利用者の方が御自身で貸出ができる機械が設置されております。

委員： 例えば借りたい本の番号を入力するみたいな、そうじゃないんですか。

委員： 図書館に、バーコードや、ICタグが入ってますね。なので本と、それから自分の貸出カードを置くだけです。出納ではなくカウンターの代わりです。

委員： 分かりました。

事務局： 香里ヶ丘は貸出が多いので、カウンターの混雑緩和を目的に、自動化貸出機を設置したという経過がございます。

会長： 分かりました。よろしいですか。また個々の採点で、次回皆さんで話し合いをしたいと思います。

それでは次の候補事業者をお願いします。

事務局： では、黄緑のファイルは机の下のほうに置いていただきまして、水色のファイルだけを上にお問い合わせいたします。御用意はよろしいでしょうか。

それでは、次の団体をお呼びいたします。

会 長： はい。お願いします。

○（申請団体②（図書館流通センター・長谷工コミュニティ共同事業体）入室）

事 務 局： 準備はよろしいでしょうか。それではただいまから、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは、はじめに団体名及びプレゼンテーションをされる方のお名前を述べてから始めてください。

なお、プレゼンテーションの時間は10分間です。時計の計測は、団体からの自己紹介が終わり、実際のプレゼンテーションが始まってから計測を開始します。終了1分前になりましたらベルでお知らせし、所定の10分になり次第、再度ベルを鳴らしますので終了とさせていただきます。御了承ください。

プレゼンテーションが終了しましたら、引き続き、委員の皆さんからの質問にお答えいただきます。

それではお願いいたします。

○（申請団体②の出席者 自己紹介）

申 請 団 体： では、説明のほうを開始させていただきます。説明に関しましては、別紙5の確認事項一覧の順番に沿って実施させていただきます。お手元の事業計画書を併せて御覧いただければと思います。

初めに、経営方針について、事業計画書の1ページから9ページを参照にお話をさせていただきます。私ども図書館流通センターは、全国560館の図書館運営業務を行っており、それぞれの地域の特性を生かした、まちの情報拠点づくりを推進しております。また、長谷工コミュニティは、建物管理を主な事業として展開しており、確かな技術と経験をもって、安心して安全、そして快適に過ごしていただくための施設管理をお約束させていただきます。

次に、10ページを御覧いただけますでしょうか。第1期指定管理期間において、私たちは枚方市様から示された香里ヶ丘図書館の課題やコンセプトを踏まえ、知と併せて人をつなぎ、地域の情報拠点を目指すということを運営目標として、地域の活性化に尽力してきました。また、コロナ禍の渦中であって制限のある中、サービスや事業を工夫して行ってまいりました。その結果、開館後多くの方に利用いただき、年間貸出目標54万冊に対して、令和3年度貸出冊数は64万冊を超え、市内7つある分館の中で貸出数1位となりました。また、利用者アンケートからは、近隣の買い物が増えたとか、図書館をよく利用するようになったなど、新しい香里ヶ丘図書館に対しての評価を得ることができたんだと思っています。以上により、第1期では一定の成果を上げることができたのではないかと自

負いたしております。

これを踏まえまして、次に12ページを御覧くださいませ。第2期の将来展望につきまして、私たちは人と人をつなぎ、交流を育む活動拠点を運営目標として、基本的な図書館のサービスを継承しながらも、併せて、まちの魅力向上に寄与するために、公園等の連携をより積極的に行ってまいります。第1期で得た成果と課題を元に、つながりを大切にしながら、より発展させた取組を実施していきたいというふうに思っております。

次に、今お話しした中で、具体的な方策についてお話をさせていただきます。18ページ、19ページのほうを御覧くださいませ。図書館の新規登録者を増やすために、まず当施設を知る、行く、そして本を借りるということを住民の方々に日常とすることを目的とした取組を行ってまいりたいと思っております。来館者を増やすための方策として、図書館からの発行物のポスティングを行い、まだ来られたことない方の来館につなげていきたいと思っております。また、気軽に利用していただくために、1つの例としては、子供向けに香里ヶ丘のお誕生会を毎月開催し、また、貸出冊数を増やす取組として、短時間の滞在でも、すぐに本を選んでいただけるようなファストライブラリーを実施させていただきたいと思っております。

次に、20ページを御覧ください。備品について、少しお話をさせていただきます。現在、利用者の方から非常に要望の多いブックカートの導入を検討させていただこうと思っております。そのほかに、館内貸出用タブレットやモバイルバッテリースポットの設置なども検討させていただいております。また、快適に広場を利用していただくために、夏の暑さ対策として、ポップアップ簡易テントや充電式サーキュレーター、子供のための外遊び用の運動遊具や、玩具の貸出しなどを今考えております。

続いて21ページを御覧ください。多目的室の利用についてですが、世代別に利用者ニーズを勘案し、フレキシブルに多目的室の活用を行ってまいりたいと思っております。

次に、23ページでございますが、コロナ禍でも「体験と学びを止めない」仕組みづくりとして、バーチャル図書館の構築、住民参加型公式YouTubeチャンネルの開設、リアルイベントの配信、そしてオンラインイベントを実施していきたいというふうに思っております。

次に、24ページに表記させていただいております、香里ヶ丘ギャラリー活用と地域活性化事業について、少しお話をさせていただきます。第1期の取組でもある、商業施設・ボランティア・URコミュニティ大阪住まいセンターとの連携を今後も継続していき、連携の拡大を図ります。第2期の新規提案といたしましては、地域サークルとの包括的な連携業務を展開したいと思っております。具体的な事例といたしまして、現在市内で活

動されている写真サークルと連携し、香里ヶ丘図書館写真教室を開催しようと思っております。

次に、25ページを御覧くださいませ。図書館と広場との一体運営についてですが、図書館と公園の特徴を生かし、地域活性化と、今まで来館されたことのない方の利用促進を目指していきたいと思っております。野外での読書体験や夜の図書館、自然に親しむイベントの実施、そのほかにも体を動かすイベントなどを実施したいなというふうに思っております。

次に、27ページに記載させていただいたとおり、電子図書館のより一層の活用についても、今まで以上に組みませてもらいたいと思っております。

さて、今お話ししてきましたような取組を推進するために、28ページからを御覧くださいませ。地域にとって必要とされる施設になるため、またより深く市民ニーズを把握するため、子どもアンケート、WEBアンケートの実施を予定しております。

また、次の29ページに示させていただいておりますとおり、利用者の安全を守るためのトラブルやクレームに関する事例に基づいた具体的な対応策についてのマニュアルを整理し、誠意を持って対応させていただきます。

次に、31ページを御覧くださいませ。来られた方が何度も足を運びたくなる図書館を目指し、スタッフの接客力向上に努めるよう、現在実施している接客研修に加え、アグレッシブホスピタル研修の実施を新たに行い、今まで以上に状況に応じた接客を実施してまいります。

次に、33ページに記載しておりますとおり、みどりの広場の芝生や植栽など、市民の方が憩いの場として利用していただけますよう、枚方市様と協議の下、管理運営のほうを実施してまいります。

また、35ページに表記しております、感染症予防対策、38ページからの個人情報保護体制、また41ページからの緊急時の体制をより一層精査し、万全な体制で運営を実施させていただきます。

最後に、館長より、運営についてお話をさせていただきます。

申請団体： 香里ヶ丘図書館館長でございます。2020年7月、まさにコロナ禍の中でオープンした香里ヶ丘図書館でしたが、当初はやはり行動制限により、地域活性化のための拠点としての役割を十分に果たすことができない日々が続きました。

一方で、本を借りに来られた利用者も、イベントに参加していただいた方々もコミュニケーションを通じて、コロナ禍だからこそ、人とのつながりを多くの方が強く求めておられることが分かりました。厳しい状況だからこそ、人とのつながりが心のよりどころになることを実感しました。

私どもは、この経験を踏まえ、これからはどんなときでもつながりを実

現するため、ウィズコロナの視点を取り入れ、コロナ禍でもつながることを諦めない図書館サービスとして、香里ヶ丘エリア地域活性化事業を始めとした新たな取組や、生涯学習事業を継続してまいります。

また、こうした活動をより広く项目的に抽出するため、公式ラインの開設、公式ホームページリニューアルの検討など、新しい広報活動の基盤を築きます。

いつでも、どんなときでも人と人がつながれる場所として機能することが、やがて香里ヶ丘のまちの価値となるように、スタッフ一同地域の魅力向上に寄与してまいります。御清聴ありがとうございました。

会 長： はい。それでは、各委員から質問させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。では先生方、御自由に御質問していただければ。

委 員： では私のほうからまず。現在の運営をされているという状況でございますけれども、現館長から見たときに、利用が従来よりも増えていったというようなお話に関して、大きな成果があったということは分かっているんですけれども、実際に何がまだ残っているのか、また、どの点について強化しなければならないのかという、こういう意識または問題点についての把握というのを教えていただけますでしょうか。

申 請 団 体： はい。数値的な利用統計という意味では、貸出者数、利用者の来館数は一気に増え上がって、成果として考えております。

ただ、やはりコロナ禍というだけの理由ではないかとは思いますが、イベントを実施したときに、その来館された方々が、その後継続して図書館の利用につながっているか、その一時的な1回の栄えあるイベントだけで参加をして、登録まで進まずに利用が進んでいると。私もまだ1年なんですけれども、今年度行っている事業に関しましては、新規イベントということとさせていただきますときに、新規登録者の数字をよく見ております。やはり、そのイベントを行ったときに新規登録もしていただいている、多くの方が、その後2週間後にまた本を借りて返しに来ていただけるというところも、利用者アンケートを通じて把握しておりますので、今後もそれを継続していきたいと考えております。

委 員： 今回の御提案は、今おっしゃったお話と、ある程度対応してるかというふうに思うんですけれども、比較的従来のものを継続するという提案のほうが多かったように思うんですが、今問題点として上げてる内容というのが、この御提案でもって解消されるというふうにお考えでしょうか。

申 請 団 体： そうですね。この5年間をいただければ。今までずっと中止、延期ということで準備してきたものが、なかなかできない状況もありましたので、今回 YouTube であったりライブ配信であったりというような、ウィズコロナという形の対応で、どういうときでもサービスを提供できる基盤とい

うものを全面に出して御提案させていただいています。

委員： 分かりました。あと、主な点2つなんですけども、1つは多目的室の利用をフレキシブルにしていくというお話があったんですが、どのようにフレキシブルにされるんですか。

申請団体： 今の多目的室の利用なんですけども、基本的には地域の団体様、お近くの自治会様とか、そういった方々が使っていただいているんですけども、広報はしているんですが、なかなかもっと利用が増えないといけないかなと。利用者アンケートでもお客様からいただいているんですが、もっと空いてる部屋を、今自習席としては使わせていただいているんですけども、空いてるときにもっとこう使わせてほしい、使えるということがはっきり分からないというところをお伝えいただいていますので、こういう使い方ができますということをもっと今使っている団体様の紹介など、そういった生涯学習のところで御提供できないかなと思っています。

委員： 何となく攻めていくというよりは、どちらかという利用がくるのを待っているイメージがあるんですが。

申請団体： 今のところそうです。

委員： 今のところそうですか。この後、御提案では、それが変わるということですか。

申請団体： そうです。こちらで、もっと積極的に図書館というよりも、その貸室の部分のところをもっと知らせていかないといけないだろうなど。ただ、やはり今現在使っていただいている、御登録いただいている団体の方々も、高齢の方とか、そういう方々が多いので、もっと若い方にも使っていただけるように。また、子育て世代のお母さん、お父さんたちが、図書館の1階のところの本を読ませてあげるのを、もうちょっと上で落ち着いて、ママ友、パパ友ではないですけども、そういった利用したいということを利用者アンケートでいただいておりますので、もっとそういうふうに積極的に図書館から御提案できればなと思っています。

委員： あともう1つだけ。今回の御提案で一番おもしろいなと思ったのは最初の部分、本に素早くたどり着く仕組みとおっしゃったんですが、ファストライブラリーという表現をされましたが、これは具体的にはどういうことを現在されていて、その改善としては、さらに何が加わるんでしょう。

申請団体： はい。こちら、私のほうから説明をさせていただきます。19ページに、ファストライブラリーというふうな表記をさせていただいております。今予定しているのは、図書館入ってすぐの左手の棚のほうに、最新の時世にあったようなテーマの本を2、3冊パッケージにして、そういうものを棚に置いておいて、入ったときに、あっ、これがあるんだということで手に取って、そのまま借りられるというような、興味を引きやすいようなテーマを題材に、本をピックアップして貸出セットをつくって提示しておく

というようなことを考えております。

委員： これは実際担当者がつくられるんだと思うんですけども、利用が増えてくれば増えてくるほど、その作業というものの準備が大きく広がっていくかと思うんですが、現状の人事配置でもって可能になる、そのバックアップの仕組みというようなものはとられてるんでしょうか。

申請団体： はい。今現在開館して、この1期目で、非常に多くの方に使っていて、私たちも思った以上に忙しいということを実感してまいりました。ですから、来期におきましては、人員につきましても少し増員予定で配置しようと思っております。その上で、今実施できるかということ、どんどんと実施していけるように回していければというふうに想定しております。

委員： 今回提案されているのは、増員後の人数ですか。

申請団体： そうです。

委員： はい。分かりました。ありがとうございました。

申請団体： ありがとうございます。

委員： はい。私のほうから、また後ほど館長に質問いたします。

委員： 安心と安全ということをおっしゃられたと思うんですけども、これまで運営されてきて、安心と安全という観点から問題になった事例というのは、何かあったんですか。それとも、そういうものは一切ないということでもいいんですか。

申請団体： そうですね。できたばかりの施設ですし、当初始まったときに危惧したのは、商業施設が横にあるので、通行人が多い、それに対して車の出入りですとかバイクの出入り、その辺りはちょっと気になったので、当初のうちは警備員を場につけるような形を取らせていただいたり、そのような形で安全に配慮したりした結果、大きな事故等はないような形ではこさせていただいております。

委員： なるほど。そうすると、その警備員は、またつかれているっていう状況なんですか。

申請団体： もう落ち着きましたので、現在は土日祝だけ配置するような形で運用しているものです。

委員： 分かりました。

委員： 2つお伺いしたいと思うんですけども、いろいろ工夫のあるイベントとか展示をされているんですけども、その土台を決める方法、システム、なぜそんなことを聞くかということ、現場のいろいろな情報が、どういうふうにもうまく地域性とか現場の方々が分かっているものとかが反映されるかなということを思ってお聞きするんですけども、イベントの企画方法と、それから地域の方々との交流というか、情報収集とか交流とかの方法

を、どういうふうにしておられるのか、2つお聞かせください。

申請団体： はい。イベントの企画方法は、基本的にはまず2通りありまして、スタッフ、全体ミーティング等で、全館の計画の中でどんなことをしたかという部分。ただし、それでは司書の自己満足という形、我々だけが思っている、そのとおりに利用者さんたちが望んでいない、ニーズに合っていないということもありますので、基本的には利用者アンケートを、イベントを行ったときに、必ず事業のアンケートを取っていますので、その中で、こうしたイベントをやったことで、継続して図書館を使われるとか、新しく図書館で試みたことに対して、利用者さんのニーズが、これが一定の成果があった、新規登録があったとか、その後図書館を継続して使っただけしている、そういったことを指標に、それをもう一度スタッフのほうで盛り込んで、この事業は1回目やったけど駄目だったので、次にちょっと改良してみようか、変えてみようかとかいうようなことで実施しています。ですので、私どもの提案プラス利用者さんからの御提案をいただいている。

今回御提案させていただいているのは、地域の写真サークルの、市民の方なんですけども、その方が香里ヶ丘ギャラリーを使ってみたいということで、年間を通じて、発表の場を求めておられるっていうことと、御自身たちがもうサークルをもっと広めたいということをおっしゃっていただいたので、まず今年度ちょっと先に展示だけ先にさせていただいてるんですけど、アンケートを取って、それに参加してみたいですかっていうことを、講座として年間を通じてやったときに、参加いただけるでしょうかというところまで踏み込んだアンケートを取りまして、結構多くの方、特に若い方、お子さん連れの方でも、そういう回答をいただいておりますので、それをちょっと今回御提案させていただきました。とにかく私どもだけではなかなかできないので、そこを地域の方々に、講師役という形でも参加していただいて、地域のコミュニティにして、こういう部分で香里ヶ丘ならではの地域性を出していけるんじゃないかなと思っております。

委員： スタッフ会議とおっしゃっているのは、香里ヶ丘図書館のパートの方も含めた全ての。

申請団体： そうです。職員も含めたですね。清掃の方とかの御意見とかもいただいたりとか、いろいろとお話をいただいたりして、みんなで作っていかうと。私たち1人1人の思いをうまく伝えるということ、やっぱり大事にしていきたいと私は考えております。

今、その写真とかもそうなんですけれども、近隣の小学校、あとCORiOさん、近くのCONOBAさん、KOHYOのスーパーっていうことがあるんですけども、その地域の人々、そこに参加されている、今の時点では七夕さんの祭り、そういった飾りつけをこちらでもさせていただ

いてるという形でとどまってるんですけども、できれば公園を利用して、その商業施設等で行われる祭りのなものと、図書館での夏祭りのなものを合体で一緒にやっていきたいなと思っています。図書館の強みはやっぱり、本を通じて利用者さんに来ていただくという形になりますので、商業施設、その営利目的という部分のところを、いかに図書館と興行性を保つかという、担保を保つかというところは難しいかとは思んですけども、その辺りの協議の土台までは、この1期目でつくらせていただいておりますので、今後どういうふうにできるかということを検討していきたいなと考えております。

委員： 施設の運営の改善提案のところ、ページでいうと22ページ辺りですけども、貸出等の業務以外に、セミナーの御提案だとか医療健康講座とか法律関連、それから交流イベント、多言語・多文化、こういったイベントやサービスというのは、講師に当たる方々というのは、どのように登用されるのでしょうか。地元の方々の登用、さっき写真サークルの方などのお話がありましたけど、そういった地元の方々を講師に取り組みとか、この地域の中での知の循環といいますか、そういった展望なり、あるいは御経験などあれば教えていただけないのでしょうか。もしくは、近隣に大学等もありますので、そういった関連も、もしあれば。

申請団体： 御質問ありがとうございます。基本的には、地域でそういう事象に長けた方に先生をやっていただきたいと思っております。また地元の大学の先生なんかも、お話をさせていただきたいなと思っておりますけれども、もし該当するような方がいらっしゃらなかったら、私ども、先ほど申しましたとおり、全国560館の館を運営させていただいておりますので、各館で成功事例があって、評判のよかった講座などについては、講師の方に枚方のほうまで来ていただくというような交渉をしながら運営をしていきたいなと思っておりますので、まず第1には地域でそういう方がいらっしゃるかどうか、いらっしゃらなかったら、全国規模で検討をさせていただきたいなというふうに思っております。

委員： この地域の方々を登用されるとなると、そういう地域内での知の循環といいますか、そういうことにもなるでしょうし、地域の方々が来館者としての立場だけでなく、図書館運営に企画協力する立場にもなるということで効果的かなと思った次第です。

申請団体： ありがとうございます。

委員： 香里ヶ丘エリアの地域活性化事業と生涯学習のところを見させていただいてるんですけども、自主事業というふうに書いてるもの以外は、もう一般の事業でされるという認識でいいですか。43、44に書かれてる事業なんですけれども。それと、具体的に自主事業分の事業参加費とか出展料というのが7万円計上されているんですけど、具体的にどういう講座

なのかというのを教えていただけたらと思います。

申請団体： そうですね。43ページ等に載せさせていただいております自主事業に関しましては、基本的には参加料であったりとか、例えば、こんな出展イベントなんかは、キッチンカー来ていただいたりとか、地元のお野菜を売っていただいたりとか、そういうようなことができればいいかなというふうに思っております。公園の使用料とかも、そこに係ってきますので、収支予算書の中では、そういうものには場所代であったりとかも含まれております。また、作家によるイベントであったりとか、写真は室内になっているのですが、公園コンサートに関しましては、演者によって少し価格は違うかとは思いますが、今まで何度か御協力いただいた団体だったりとか、そういう方々に協力していただきながら実施をさせていただきたいなというふうに思っております、収支予算の中で自主事業の項目の中で、収入のブロックでは大体お1方当たり参加費といっても、1人300円であったりとか高くても500円以内でというふうに予定しておりますが、講師料に関しましては、講師の先生にもよるんですけども、1万円かかったりするものがありますので、その辺の差はありますけれども、市民の方々に楽しんでいろいろ御経験していただくという趣旨から、このような形で御提案させていただいております。

委員： はい。分かりました。

申請団体： ありがとうございます。

委員： よろしいですか。

会長： どうぞ。

委員： 先ほどから、地域の方々に関してのお話の中で、特定のグループの名前が上がってきてるんですけども、より広く地域の方々と、その協同していくような、もしくは巻き込んでいくような工夫というのはなされるのかどうかというのが1点。

それからもう1点が、実際問題として、今回のその増員というのをおっしゃいましたけども、増員の規模というのが、その3年間の利用の増加というものを十分に吸収した上で新たな提案をするのに足りているのかというあたりの判断について教えていただけますでしょうか。前者は館長から、後者は営業担当の方からよろしいでしょうか。

申請団体： はい。小さいくくりでいうと香里ヶ丘の地域という形の御提案が多くなってるかなとは思いますが、もう少し大きくして枚方市内全部という形になってますので、今の私どもの考え方からすると、地域の、今施設や図書館を利用されている方が、一番香里ヶ丘に近い方々だと思いますので、まずその方々をお誘いするっていう形で今やっています。

この秋に11月にもう、今ヨガの体験教室をちょっと広場で考えているんですけども、今施設利用をしていただいている団体さんの裾野をもうちょ

っと広げていきたいなということで、そこに参加されてる方々の発表、こんなことをやってますっていうことも含めて御協力いただいて、まず地域の、香里ヶ丘地域に根差したところをまず目指していくという。それが次第に、一時的なことを言ってるかもしれないですけども、枚方市内ほかの地域の方々もお誘いできる形に膨らんでいって、初めて枚方市の中で、香里ヶ丘エリアの地域の活性化という形に進んでいくのではないかと考えております。

委員： はい。分かりました。はい。ありがとうございます。後者についてはいかがでしょうか。

申請団体： そうですね。今おっしゃっていただきました今後の増員計画についてなんですけれども、特に第1期を踏まえまして、スタッフそれぞれ、こう繁忙期を乗り越えてきていただいたわけなんですけれども、ある程度繁忙の度合とかにも、今ある業務としては、ある程度慣れてきているというところもあって、今後は、通常業務よりプラスアルファで、御提案しているようなものにどンドン着手していかなければいけないということを踏まえての増員計画とさせていただきます。ありがとうございます。

委員： はい。ありがとうございます。

もう1点だけ。今回の御提案で、先ほどウィズコロナに対応した形で新たな利用者をというお話がありましたけども、実際問題として、今SNSその他の利用というのを増やしたからといって、今まで来なかった人があまり増えるというような、そういう見通してないような気がするんですけども、これで本当に十分とお考えでしょうか。それともほかにも今後提案されるような予定があるのでしょうか。

申請団体： そうですね。基本的には、今回御提案しているものをベースに、それぞれ今御提案している内容を実現しながら、やっぱりここはもう少し充実させたほうがいいのか、ここはちょっと減らしても、例えば YouTube 配信など、ウェブでの配信等を御提案していますけれども、それよりは電子図書館サービスをもっと広めて、借りにこなくても図書を利用していただけるという層を増やしたほうがいいのかとか、そういうことは運営をしながら、それぞれの項目については検討していければなとは思っています。

委員： それはいつ頃、誰がなさるのでしょうか。

申請団体： はい。今現在もモニタリング等でいろいろ評価をいただいたりしておりますけれども、その前に事後評価をいたしまして、後は利用者の反応であったりとか、そういうものを見ながら、どこにどういうふうに手を加えていけばいいかというようなところは、年間年間1年のうちで、やはり節目節目に検討をしていきたいなというふうに思っております。

委員： はい。ありがとうございます。

委員： 差し障りがあればお答えいただかなくても結構なんですけれども、館長

1年前に来られたんですね。なぜ代られたんですか。前の前任者はどうなったのですか。

申請団体： 前任者は定年で退職しました。

委員： ああ、定年。そういうことですか。

申請団体： はい。定年で退職となりましたので、同じ枚方市内のほうで、枚方の運営に慣れているということで異動をいたしました。

委員： 分かりました。失礼しました。

申請団体： 開館当初から応援にも関わっておりますので。

会長： ほかの先生方よろしいでしょうか。

委員： 令和3年度の評価を見ているんですけども、なかなかこのコロナで、対面でだんだん緩やかになってきている感じがするんですけども、微妙なところがありますよね。それで令和3年度は、少し広場でのいろんな活用が少なかったというような指摘で、臨時休館していなかったのにも関わらず既定の事業ができなかったというような指摘がされてるんですけども、そのあたりはこれからも同じような、感染者はいるけれども、だんだん対面がっていう状況になりますが、そこら辺の対面での、広場でのいろんな事業のウィズコロナ対策という、このコロナの状況でどうしていきたいとかいうような中ではいかがでしょうか。

申請団体： そうですね。おはなし会を、青空おはなし会という形で広場のほうでさせていただけました。天候に不順が続きまして、予定していたものは、室内でやるという形でさせていただいたので、その部分の数字的なもの、青空おはなし会として集めた方々を室内でおはなし会をしたということで、その分で規定に足りていなかったということで、私どももちょっとその部分が抜け落ちてたということが前年度、令和3年度にありましたので、もっと多く、天気のところも含めて計画を見直すという形で今年度実施しておりますので、規定数以上の、もっと外でやるほうが、まあ万全とは言えないですけども、違った開放感ができますので、その日数をほかの講座でもできる場所にしていきたいと思っております。

やはり、公園を日常的に使っていただけるということが大事なと思っておりますので、そのイベントだけをやるための公園ではないと思いますので、地域の方々が図書館に来る、散歩でっていうような形で体を動かしていただいても結構ですし、そういったところで日常生活にフィットするような、この子育て世代のおもちゃの遊具とか、そういったものも、取り入れて、イベントで使うではなくて、毎日の日常で使っていただけるような公園づくりと図書館との合体を目指していきたいです。

委員： はい。ありがとうございます。

会長： よろしいですか。それでは長い間ありがとうございました。これで終わらせていただきます。お疲れさまでございました。

申請団体： ありがとうございます。

○（申請団体②（図書館流通センター・長谷工コミュニティ共同事業体）退室）

会 長： それでは補足的に事務局に確認したい点等ございましたら、御確認いただけますか。

委 員： 今回は館長が中心になってしゃべっていましたね。

委 員： 現状の事業者なのでしゃべりやすいということもあるかと。

会 長： そうですね。

何か、現運営に関して、事務局のほうで問題と感じられている部分とか、こういう点は改善してほしいとかいうような希望はございますか。

事 務 局： 駐車場の話が出ておりましたけれども、隣にスーパーがあり、かなり交通量が多いんです。今のところ、大きな事故等はないんですけれども、少し心配といえば心配ではあります。

たまに駐車場待ちの渋滞を起こしてることがありますので、それだけ利用されてるということでもあるんでしょうけれども。心配な点はありますが、今もたまに警備員さんがおられますので。

会 長： そうですか。それは土日とかですかね。

事 務 局： 土日祝など、割と繁忙のときに。

会 長： なるほど。分かりました。

委 員： 令和3年度の評価を見ていたら、先ほど指摘したコロナに配慮し過ぎて、ちょっと事業が消極的という指摘と、広場の植栽管理については一部検討の余地があるという御指摘をされているんですが、何か課題はあるんでしょうか。それとも軽微なことなんでしょうか。

事 務 局： はい。あの広場が併設されて、新たに広場の芝生が設置された後からすぐに管理していただいているので、かなりいい状態からスタートしたんですけれども、円形のサークルが2つあり、その内側の芝生は正規の状態からすると正直あまりよい状態ではなかったということがありました。これは今年度、モニタリングでも改善するようにという指摘はしまして、また今年度内に一定養生していただいたり、新たに肥料をまいていただいたりという、改善はしていただいていますので、少しずつよくなっている部分、状態ではあります。

委 員： そういう広場管理や書庫の管理の技術として、この長谷工さんと京阪では、技術の差ってあるんでしょうか。

事 務 局： 京阪ビルテクノさんも、基本的にそこまで植栽をメインでやっておられる事業者ではないので、どこまで技術をお持ちかというのは、事務局としては把握できていない状況です。

委 員： はい。

委員： 1点いいですか。

会長： どうぞ。

委員： 夜の活用のお話があったと思いますけれども、現在も夜の開館は一定の時間まで開館されていると思うのですが、こういったお化け屋敷とか、そういうプラスアルファのサービスは現在も展開されているんですか。

事務局： 現在のところは平日と土曜日は夜9時までなんですけれども、それ以上の時間を延ばしてイベントをされているという実績はございません。

委員： もしそういった通常開館時間以外のサービスになってくるときに、何か懸念されることはありますか。特に夜間。

事務局： そうですね。一番は安全確認です。やはり暗い中で行うイベントになりますので、そういったところの安全確認はしっかりしていただかないといけないなというところはございます。特定の方を対象にイベントをするのか、それとも広く誰もが参加できるような形にするのかというような、そういう企画段階でしっかりとしたものをつくっていただかないと收拾がつかなくなりますので。

委員： 例えば、駐車場という意味では、昼間は大丈夫だけど夜はキャパがなくなるとか、そういうことは考えられるんですか。そこまで心配するほどではないんですか。

事務局： 夜間の駐車場利用はそれほど多くはないですね。

委員： ありがとうございます。

会長： はい。よろしいでしょうか。

以上でプレゼンテーションは全て終了いたしました。

案件3. 評価について

会長： 続きまして、案件（3）「評価について」、若干繰り返しになるかもしれませんが、いま一度事務局のほうから御説明いただけますか。

事務局： はい。それでは御説明します。評価の基本的な考え方につきましては、先ほど御説明しましたとおり、「資料7 評価表」の要求事項ごとに、5段階で評価いただくものでございます。大変恐縮ではございますが、本日お配りさせていただきました「申請書類一式」については、評価を行う際に必要になりますので、本日お持ち帰りいただくか、もしくは机に置いてお帰りいただき、後日私ども事務局から郵送させていただければと考えております。

また、申請書類等一式につきましては、次回、第3回委員会でも使用し、その後回収をいたします。そのため大変お手数ですが、あらかじめ事務局からお送りした着払伝票を使用し、第3回選定委員会の終了後、事務局宛に御返送ください。その際、先日郵送させていただきました資料を含めた形で郵送いただきたく存じます。

御記入いただきました評価表につきましては、メールにてご送付いただきたく存じます。また、返信期限につきましては、大変短い期間で恐縮ではございますが、事務処理手続きの都合上、10月5日水曜日中には届きますようお願いをいたします。なお、御都合がつかない場合は、御連絡いただければと存じます。

なお、メールでお送りいただいた評価表につきましては、事務局で取りまとめを行い、次回の委員会において評価結果の集計、また委員の皆様の評価コメントを取りまとめた案として御提示させていただきたいと考えております。

次回、第3回の選定委員会につきましては、10月17日月曜日の19時からWEB開催となります。評価の集計等を御提示した後、本施設の指定候補者について合議、答申へとお進めいただきたいと存じますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

会 長： はい。ありがとうございました。今の評価等につきまして、御質問等ございませんか。よろしいですか。

○（「異議なし」 全員確認）

会 長： では、以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。よって、香里ヶ丘図書館・みどりの広場 教育委員会指定管理者選定委員会を閉会させていただきます。委員の皆さん、長時間にわたり御協力賜りましてありがとうございました。お疲れさまでございました。それでは、以上でございます。

(15:00 閉会)